

看護過程論

ナンバリング:N1-S1-C07

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

対象の看護ニーズに適した看護を展開するための看護過程の概念と意義、および看護過程展開方法の基本的な知識について講義を通して学ぶ。
--

・教育成果(アウトカム)

看護の基礎的能力として、計画的に看護を実践する能力を身につけるため看護過程を学ぶ。 看護過程の基盤となる考え方と、看護過程の各段階、看護診断の考え方、看護記録の目的・意義について知り、説明できるようになる。 授業では、提示された事例について個人ワークに取り組むことで、看護計画の立案にむけてのアセスメント、関連図の重要性を理解できる。さらに、看護計画の立案を行い、看護計画の評価の方法について学ぶ。 この授業を通して、既習の知識を応用することや論理的思考過程を踏むことの重要性を認識でき、看護過程の一連の段階とは何かが理解できる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。

・到達目標(SBO)

1.看護過程とは何かを説明できる。 2.クリティカルシンキングとEBP(Evidence Based Practice)の考え方について説明できる。 3.リフレクションとは何かを説明できる。 4.実際に看護過程の展開をする際には、「看護過程の基盤となる考え方」を身につけていることが重要であることに気づくことができる。 5.看護過程の展開に際して、心理社会的な側面のアセスメントに活用できる理論と、その概要について説明できる。 6.NANDA看護診断の概要を説明できる。 7.「看護診断」はアセスメントの結果の表現であることを説明できる。 8.看護記録の目的・意義について説明することができる。 9.アセスメントの枠組みとは何かを説明できる。 10.提示したアセスメントの枠組みの項目内容を記述でき、項目ごとの情報整理のポイントをあげることができる。 11.指定のアセスメント項目に、必要なデータを記載し、アセスメントを記述できる。 12.関連図とは何かを説明でき、関連図から看護上の問題点を見出し記述する方法を説明できる。 13.看護計画の記載方法を説明でき、提示された事例の看護計画を立案することができる。 14.看護過程の評価とは何かを説明できる。 15.事例展開を通して、看護過程の展開をする上での自己の課題を述べることができる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
11/7 金 1限	【授業内容】看護過程とは何か、看護過程の基盤となるもの、クリティカルシンキングとEBP、リフレクション、看護過程の意義 ・看護過程とは何かを説明できる。 ・クリティカルシンキングとEBP(Evidence Based Practice)の考え方について説明できる。 ・リフレクションとは何かを説明できる。 ・実際に看護過程の展開をする際には、「看護過程の基盤となる考え方」を身につけていることが重要であることに気づくことができる。 【関連するSBO】1,2,3,4 【事前学修:30分】教科書1,P46～53を読む 【事後学修:60分】講義資料の復習をし、疑問点を明確にする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
11/18 火 4限	【授業内容】看護過程に活用できる理論、看護診断とは、看護記録の目的・意義 ・看護過程の展開に際して、心理社会的な側面のアセスメントに活用できる理論と、その概要について説明できる。 ・NANDA看護診断の概要を説明できる。 ・「看護診断」はアセスメントの結果の表現であることを説明できる。 ・看護記録の目的・意義について説明することができる。 【関連するSBO】5,6,7,8 【事前学修:60分】看護学概論の講義資料の「理論とは」を復習する。 【事後学修:120分】講義資料を復習する、日本看護協会の「看護記録に関する指針： https://www.nurse.or.jp/nursing/home/publication/pdf/guideline/nursing_record.pdf 」を全文を読む	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授
11/21 金 2限	【授業内容】看護過程のアセスメントの枠組み、看護過程「アセスメント」→「関連図・看護上の問題点の明確化」→「看護計画」までを肺炎の事例を用いながら説明、看護過程の評価について ・事例を使ったアセスメント～看護計画までの一連の思考過程を理解できる。 ・アセスメントの枠組みとは何かを説明できる。 ・看護過程の評価とは何かを説明できる。 【関連するSBO】9,12,13,14 【事前学修:60分】第1回目の講義資料を復習する 【事後学修:120分】提示された肺炎の事例の病態の学習をする	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授
11/25 火 1限	【授業内容】事例(胃潰瘍)を用いての看護過程① 「情報収集・整理」「アセスメント」の個人ワークとディスカッション ・指定のアセスメント項目に、必要なデータを記載し、アセスメントを記述できる。 【関連するSBO】9,10,11 【事前学修:120分】第3回の講義資料の復習およびアセスメントを記載する 【事後学修:180分】アセスメントの枠組みの記載内容に沿ってアセスメントの記載をすすめる	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/28 金 2限	【授業内容】事例(胃潰瘍)を用いての看護過程② 「アセスメント」「関連図」の個人ワークとディスカッション ・関連図とは何かを説明でき、関連図から看護上の問題点を見出し記述する方法を説明できる。 【関連するSBO】10,11,12 【事前学修:180分】アセスメントを記載する 【事後学修:180分】講義資料の復習と教員の個別あるいは全体へのアドバイス内容を活かしてアセスメントを完成させる	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/10 水 4限	【授業内容】事例(胃潰瘍)を用いての看護過程③ 個人ワークでのアセスメントの発表と事例の全体像の作成 ・グループに分かれ、提示された事例のアセスメントを発表し、事例の全体像についてディスカッションができる。 【関連するSBO】10,11 【事前学修:60分】個人のアセスメント結果より、患者の全体像(関連図)に含むべき内容を整理しておく。 【事後学修:180分】講義資料の復習と教員の個別あるいは全体へのアドバイス、グループワークの成果物も踏まえて関連図を作成する。	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

12/11 木 2限	【授業内容】事例(胃潰瘍)を用いての看護過程④ 「関連図」「看護上の問題点の明確化」「長期目標・短期目標の設定」「看護計画立案」の個人ワークとディスカッション ・看護計画の記載方法を説明でき、提示された事例の看護計画を立案することができる。 【関連するSBO】12,13 【事前学修:60分】関連図より「看護上の問題点」看護上の問題点に沿った「長期目標・短期目標」を記載する 【事後学修:180分】講義資料の復習と教員の個別あるいは全体へのアドバイス内容を活かして看護計画を立案する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
12/18 木 2限	【授業内容】事例(胃潰瘍)を用いての看護過程⑤ 【関連するSBO】10,11,12,13,14,15 【事前学修:240分】 事例を用いた看護過程の展開 ・アセスメント～看護計画の立案までの記録内容全体を確認する。 ・紙上事例展開の個人ワークの全体を見直し確認し評価表の自己評価を記載する ・事例展開を通して、看護過程の展開をする上での自己の課題を述べることができる。 【事後学修:60分】個人ワークを振り返り、省察し、看護過程を展開する上での、現時点での自己の課題を明らかにする	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1]看護学概論第17版	茂野香おる	医学書院	2020
教	アセスメント・看護計画がわかる症状別看護過程第2版	小田正枝	照林社	2021

・成績評価方法

【総括的評価】 ・看護過程の事例展開の最終提出時の記載内容90%、中間提出時の記載内容とグループワークの成果物10%(計100%)で評価する。評価のためのルーブリックは、課題提示時に一緒に提示する。 【形成的評価】 ・事例を用いた看護過程の展開の個人ワークの際には、教員がラウンドし、個別の質問疑問に答える。また、記載内容を確認し、学修状況ならびに理解度を確認する。授業終了時に再度、疑問質問がないかを全体に問い、Webclassからのメールでの質問も受ける。

・特記事項・その他

事例展開開始にあたり紙上事例だけでなく、事例にデジタルストーリー動画を教材として視聴する。 【事前事後学修の具体的内容】 看護過程の個人ワークでは、同時期に履修する解剖学・生理学・病理学の復習を丁寧に行い、事例のアセスメントにその学習内容を活かすこと。授業の個人ワークの中では、教員への質問に加えて、学生同士で教え合う時間を設け、全体及び個々の理解を深める。個人ワークは、事例展開のために必要な事前事後学習を実施していることを前提にすすめる。 【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・個人ワーク中は個別あるいは全体に対して適時口頭での留意事項を伝える。 ・授業最終日に提出された個人ワーク記録にコメントする。 ・授業資料はWebClassで配信する。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 基礎看護学 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有(なければ「無」) 大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影